

うない通信

国立大学法人 琉球大学 うない研究者支援センター ニュースレター Vol.8 2015年3月発行

男女共同参画シンポジウム2014 「女性研究者支援からダイバーシティ推進へ」を開催しました!

平成26年12月4日(木)、琉球大学大学会館にて、男女共同参画シンポジウム2014「女性研究者支援からダイバーシティ推進へ」を開催しました。本シンポジウムは、平成24年度に採択された文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」の総括としてこれまでの取組みと成果を報告すると共に、多様な人材の育成と活躍を促進するために大学が何をすべきかを議論することを目的に開催されました。

開会に際し、大城肇学長より「本補助事業が終了する次年度以降は、文科省への事業申請時に掲げた女性研究者比率の在職比率の目標値の迅速な達成、および女性研究者支援体制の充実を図りつつ、女性研究者支援事業を次なるステージへと視点を広げて、性別・国籍・年齢・障がいの有無などに関わらず互いの違いを尊重し、多様な属性を持った人材が活躍できるような大学作りを目指してまいります」と挨拶がありました。

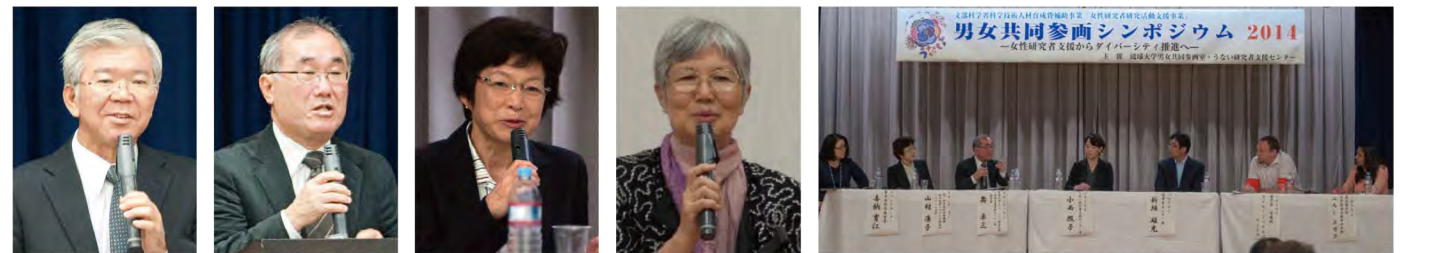
基調講演では、愛媛大学女性未来育成センター長の壽卓三副学長から、「愛媛大学の女性未来育成プランとダイバーシティ」と題してご講演いただきました。壽副学長は、愛媛大学における女性研究者支援事業の取組みとその全学的な展開についてご紹介され、特に成果がみられたものとして「愛大式ポジティブアクション“1プラス0.5”」や研究支援員制度、学内保育所の設置、次世代育成プロジェクト「サイエンスひめこ」等について説明されました。愛媛大学では学長裁量経費等による恒常的な予算措置と人員配置を確保することで、これらの全ての取組みを補助事業終了後も継続していることをお話しされました。壽副学長は、「今後、大学評価において、女性研究者支援や女性活用を外付け的なプラスアルファの仕事としてではなくて、大学の使命やミッションにどのような形で位置付けられるかという知恵が大きく問われていくことになるのではないかとご指摘されました。

続いて、小西照子うない研究者支援センター長より、本学における女性研究者支援の取組みと目標数値の達成状況について報告がありました。本事業では、平成23年度には13.2%だった女性研究者の在職比率を平成26年度末までに16%とする目標値を掲げてきたが、平成25年11月末現在、15.8%と届いていないこと、そして、さらなる女性研究者の積極的な採用を促す措置が必要であることが報告されました。

3年間の本事業の取組みと成果報告として、研究補助員配置制度を利用されてきた大学院医学研究科齊藤美加助教と留学生センター山元淑乃講師、研究補助員の小林しおりさん(大学院医学研究科)より、本制度を利用した研究紹介と今後の研究テーマ等について報告がありました。

「女性研究者支援からダイバーシティ推進へ」と題したパネルディスカッションでは、喜納育江男女共同参画室長をファシリテーターとして、(独)科学技術振興機構科学技術プログラム推進部プログラム主管の山村康子氏と壽卓三愛媛大学副学長をコメントーターに迎え、小西うない研究者支援センター長、新垣雄光留学生センター長、ライマー・ジェームズ・デイビス准教授(理学部)、留学生のニルシ・ヌガラさん(鹿児島大学連合農学研究科博士後期課程)をパネリストとして討論しました。研究を活性化させる上でも多様な視点をもつ研究者を活かすことが重要であり、女性研究者や外国人研究者の在職比率向上のための施策や環境整備が必要であるなどの意見が上がりました。

閉会の挨拶として、外間登美子地域国際連携・男女共同参画担当理事・副学長が「琉球大学が発展していくためには、この補助事業終了後も全ての女性研究者支援の取組みを継続し、短期的には女性研究者在職比率の目標値を達成させ、長期的にはダイバーシティを推進していきたい」と述べました。



大城 肇 学長 愛媛大学 壽 卓三 副学長 (独)科学技術振興機構 山村 康子 プログラム主管 外間 登美子 理事・副学長 パネルディスカッション

外灯設備改修工事に女性研究者の声も反映!

平成26年度に施設運営部が実施した「(千原他)外灯設備改修工事」において、昨年度行った「学長と女性研究者との懇談会」で指摘された安全なキャンパスの確保についての要望が反映されました。特に、懇談会で夜間の照明が暗いので改善してほしいという指摘が多かった。1)図書館前、2)学部の建物の死角、3)駐車場周囲等を優先地区として、照らす範囲が狭い庭園灯型からポール型に、さらに照明灯が蛍光灯からLED照明に取り換えられました。来年度以降も、安全なキャンパスづくりのために、引き続き環境整備に取り組んでいきます。



合同企画展

「誰もが輝ける社会を目指して～男女共同参画推進への挑戦～」開催中

誰もがいきいきと自分らしく生きる社会を実現するために、どのような問題があり、どのような支援や施策が必要なのか。うない研究者支援センターは、附属図書館と合同で「誰もが輝ける社会を目指して～男女共同参画推進への挑戦～」を開催しています。

本合同企画展では、国内外の男女共同参画の動向や琉球大学の女性研究者支援の取組みについてのパネル展示、関連図書の展示・貸出を行います。また、毎週月曜日に「家族・いのち」をテーマとした上映会を開催します。

また、会場では「生き方の多様性を応援する“うない文庫”」も開催しています。うない文庫は、(独)国立女性教育会館の図書パッケージ貸出サービスを利用して、実施しています。今回のテーマは、「もうひとつのキャリアデザイン」です。あわせてご利用ください。

【期 間】平成27年1月19日(月)～3月20日(金)
【時 間】平日:8時～22時、土日祝日:10時～20時
※2月16日以降:8時半～22時
休館日:2/25-26、3/12-13

【場 所】附属図書館本館1階ロビー
【上映会】附属図書館本館グループ学習室C
【主 催】琉球大学附属図書館
【共 催】うない研究者支援センター



「サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ ～本島編～」開催のお知らせ

沖縄科学技術大学院大学(OIST)と琉球大学の女性研究者・学生が講師となって、最先端の科学を楽しく学べる講義や実験を実施します。また、リケジョの先輩達が様々な理系分野の中からどのように専攻を決めたのか、研究の楽しさ、研究室の様子や学生生活、大学卒業後の進路などについてお話しします。琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底施設では、波利井佐紀准教授がサンゴ礁にすむ生物の生態について講義を行います。

開催日:2015年3月25日(水) 9:00～17:30
会 場:琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底施設およびOIST
対 象:県内高校に通う女子高校生 30名程度
締 切:2015年3月20日(金) ※申込み先着順。
参加費:無料
詳しくは、当センターWEBサイトをご覧ください。

編集後記

平成24年度に採択された文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」も、この3月をもって終了となります。これまで多くの方々にご協力頂き、誠にありがとうございました。うない研究者支援センターは、平成27年度から新たな体制となります。今後とも、人と人とのつながりを大切にしながら、多様な人材が活躍できる環境づくりをサポートしていきます!どうぞ、よろしくお願いたします(スタッフ一同)



国立大学法人 琉球大学 うない研究者支援センター

University of the Ryukyus
Unai Center for Researcher Support and Development

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 大学本部1階
TEL:098-895-8675 FAX:098-895-8732
E-mail:gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp
URL:http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/unai/

